

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	松大-男30
----------	--------

年月日	2022年7月31日(日)
大会名	令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会 高松高松地区 第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

### 公式記録用紙

A 県立総社高等学校						九州学院高等学校						B		
都道府県 愛媛県		市町村 松山市		会場 松山大学御幸キャンパスアニバーサリーアリーナ						回戦 2回戦				
前半	A 8	B 16	最終 結果	A 17	B 27	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m ポイント	A	B
7m得点/総数		A 2/4		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/2		7m得点/総数		
		1 2220		2 後 1056			1 2702			2 3				

No.	総社	G	W	2'	D	DR	No.	九州学院	G	W	2'	D	DR
1	柴田 恭佑						1	池田 雄紀	1				
3	永田 恵一郎	1	1				2 c	林田 凌和	7		1		
5	菱川 健太						3	鎌田 大聖					
6	一井 将司						4	井手 翔大					
7	永野 源	3					5	入口 脩	2		1		
8	今城 悠都	1		1			6	橋本 拓斗					
9	佐野 頼希	2					7	船田 猛	2				
10	横田 華虎	5					8	山本 加響			1		
11 c	所 真大	4					9	佐藤 翔大	1				
12	赤木 蓮央						10	有富 晴輝	7				
14	大久保 泰智						11	渡邊 海崇	3		1		
15	西村 柚希	1					12	大野 敬剛					
17	加治屋 宇菜						13	井上 拓哉	3				
18	渡邊 清正						14	上野 瑠生	1				
監督A	所 努						監督A	重村 達浩					
役員B	永野 男						役員B	黒木 美玖					
役員C	正保 泉妃						役員C	菊川 結衣					

A	所 努	チーム役員A署名	重村 達浩	B
特記事項				

レフェリー	高橋 容平	磯部 尚志	高橋 容平	磯部 尚志
TD	北嶋 浩	金子 能明	北嶋 浩	金子 能明
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会  
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 試合結果・戦評報告書

競技日	2022年7月31日(日)		会場	松山大学御幸キャンパスアバナーアリーナ	
種別	男子		回戦	2回戦	
チーム名			チーム名		
県立総社高等学校(岡山)			九州学院高等学校(熊本)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
17	8	前半	16	27	
	9	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

## 戦評

昨日の接戦を制した県立総社のスローオフで始まった試合は、総社⑩横田が得点すると、九州学院は⑪渡邊のカットインで同点とする。その後も、総社は⑩横田のカットインなどで果敢に攻めるが、九州学院は②林田の3連取で4対2とし、さらに⑩有富のカットインや⑪渡邊、②林田らの得点で7対3とリードを広げる。ここで総社のディフェンスは、九州学院のバックプレイヤー2人にマンツーマンを仕掛けるが、九州学院はスペースを使い⑩有富、⑦船田が得点し、また②林田のミドルシュート、⑤入口のポストシュートなどで6点連取し13対4と点差を広げた。総社は何度も得点チャンスがあったが九州学院GK①池田の好セーブに阻まれ16対8で前半を折り返した。

後半に入り総社は⑪所の7mTで1点を返すが、その後は、九州学院GK①池田の安定したキーピングに阻まれ得点が続き、九州学院は②林田のカットイン、⑩有富のサイドシュートなどで5連取し21対9と点差を広げた。総社は7人攻撃などを試みるが、九州学院はGK①池田の好セーブが続き、GK①池田、⑪渡邊が共にエンプティゴールを決めるなど点差を広げた。その後も試合は九州学院のペースで進み、27対17でタイムアップとなった。